

千葉県県民活動推進計画（平成30～32年度）案の概要

1 策定の趣旨

地域においては、人口構造の変化や価値観の多様化等を背景に、複雑で多岐にわたる課題が山積しており、行政による従来型の施策や支援だけでは解決することが難しい状況となっている。

そこで、県では、県民が自発的に地域課題の解決を図り、地域をより豊かにしようとするNPO活動やボランティア活動等を「県民活動」と位置付けて、「千葉県県民活動推進計画（平成27～29年度）」を策定し、施策を推進してきたところである。今後も県民主導の地域づくりをより一層促進していくため、次期計画を策定する。

2 計画の性格

県総合計画を踏まえ、県として取り組むべき方向性を定めるもの

3 計画の期間

平成30年度から平成32年度までの3年間

4 策定の方針

現計画を継承しつつ、取組の成果や以下の現状等を踏まえて策定

(1) 3分の1以上の方がボランティアを経験 県政世論調査 H28：35.6%

⇒更なる裾野の拡大、維持・定着に向けた環境づくりが必要 → **裾野の拡大**

(2) 東京2020大会は県民活動推進の大きな契機

⇒活動の機運を高めるとともに、地域で活躍する人材づくりの機会とすることが重要
→ **人材づくり**

(3) 市民活動団体にとって、活動資金不足や高齢化等による後継者不足が課題

⇒運営ノウハウの提供や支援体制の更なる整備が必要 → **団体支援**

(4) 地域では、人口構造の変化や価値観の多様化等を背景に課題が山積

⇒地域における連携・協働の一層の促進が効果的 → **協働による地域づくり**

5 計画の策定にあたって

(1) 関係機関の意見を踏まえて策定

[庁外]：外部有識者で構成する「千葉県県民活動推進懇談会」及び「同幹事会」

[庁内]：関係課等で構成する「千葉県県民活動推進会議」等

(2) その他

「東京2020大会に向けたボランティア推進方針」や「千葉県地方創生総合戦略」等との整合を図る。